

第2回定例会が開催されるに当たりまして、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

第6期恵庭市総合
計画第1次実施計
画について

はじめに、第6期恵庭市総合計画第1次実施計画について申し上げます。

令和8年度より始まる、第6期恵庭市総合計画の具体的な事業を年度別に位置づけた「第6期恵庭市総合計画第1次実施計画」を策定いたしました。

今後は、総合計画が掲げる基本目標や施策の達成に向け、本実施計画に基づき、各事業を計画的かつ効率的に進めて参ります。

恵庭市行政改革大
綱2026の策定
について

次に、恵庭市行政改革大綱2026の策定について申し上げます。

人口減少や少子高齢化の進行、社会保障費の増大、デジタル化の進展など、行政を取り巻く環境が大きく変化する中、将来にわたり持続可能な行政運営を実現するため、本年4月に「恵庭市行政改革大綱2026」を策定いたしました。

今後は、本大綱に基づき、効果的かつ効率的な行財政基盤の構築に向け、事務事業の見直しなど各分野における個別の計画に沿って行政改革を着実に推進して参ります。

令和7年度ふるさ
と納税寄附につい
て

次に、令和7年度のふるさと納税寄附について申し上げます。

令和7年度の国の制度改正に伴う影響から、寄附件数は前年度比26パーセント減の9万5,859件、寄附額は前年度比18パーセント減の約21億5,500万円となったところであります。

また、企業版ふるさと納税については、寄附件数25件、寄附額1,830万円となっており、前年度に引き続き、人材派遣型企業版ふるさと納税として、第一生命保険株式会社から人材を派遣していただい

	<p>ているところであります。</p> <p>今後も、引き続き創意工夫を凝らした取組を展開し、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税寄附の拡大に努めて参ります。</p>
<p>立地適正化計画について</p>	<p>次に、立地適正化計画について申し上げます。</p> <p>立地適正化計画につきましては、昨年度、都市計画審議会による審議をはじめ、有識者会議や市民説明会、パブリックコメントなど、広くご意見を伺いながら策定を進めて参りました。</p> <p>策定から一定の周知期間を経て、本年7月より本計画に基づく「届出制度」の運用を開始する予定であり、今後も持続可能なコンパクト・プラス・ネットワークの形成に向けた都市づくりを推進して参ります。</p>
<p>「こまば地域支援センターふろーれす」の竣工について</p>	<p>次に、「こまば地域支援センターふろーれす」の竣工について申し上げます。</p> <p>「こまば地域支援センターふろーれす」が、駒場町の旧青少年研修センター跡地に、本年5月21日に竣工されました。</p> <p>社会福祉法人恵庭光風会の運営により、本センターにおいては、日中サービス支援型の共同生活援助、重症心身障がい者向けの入浴施設付き生活介護及び機能訓練型生活介護が運用され、本年5月28日より順次開所されているところであります。</p> <p>本センターの開所により、重度障がい者の地域生活を支える機能の更なる充実が図られるものと期待しております。</p>
<p>令和8年度乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について</p>	<p>次に、令和8年度乳幼児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)について申し上げます。</p> <p>本事業は、令和8年4月1日から給付化の手続きを経て、市内4か所の保育所等で本格実施となりました。これに合わせ、電子申請による利</p>

用者受付を開始しております。スマートフォン等からの手続きが可能となり、利用者の利便性向上を図っております。

今後も、新規事業者の募集や子育て家庭への周知活動を行い、本事業の定着と、全てのこどもの良質な成育環境のさらなる充実を図って参ります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

農作業につきましては、雪解けも早く、好天に恵まれたこともあり、順調に作業が進んでおります。

酪農につきましては、5月21日と22日の2日間で市営牧場に市内外11戸の酪農家から168頭の入牧を終え、10月中旬まで放牧を行い、乳牛の増体を図って参ります。

また、基盤整備につきましては、国営漁川右岸地区の事業進捗に向けた調整を図って参ります。

北海道日本ハムファイターズファーム施設の誘致について

次に、北海道日本ハムファイターズのファーム施設の誘致について申し上げます。

本市では、これまで本市のまちづくりとして、北海道日本ハムファイターズが描くまちづくり構想を実現するため、必要な広さを確保できる場所や、財政支援のあり方、スケジュールなどの提案、説明を行い、誘致に向けた協議を鋭意進めてきたところであります。

また、市民と経済界が中心となって設立された「恵庭市日本ハムファイターズ新ファーム施設誘致期成会」におかれましては、市内外から5万筆を超える署名を集めていただいたことに加え、誘致後の構想を発表していただくなど、市民の機運向上のための多くの取組を行っていただいております。

さらには、5月25日に議会から「北海道日本ハムファイターズ新フ

ファーム施設の恵庭市への誘致に関する要望書」をいただいたところであり、市民や議会と一体となった取組を進める上で大変心強く感じているところでもあります。

報道等によりますと、現在、本市を含む3自治体が候補地として挙げられているとのことではありますが、本市としては、ファーム施設の誘致実現に向けて、今後も積極的に熱意をもって協議を進め、市民や議会のご期待に沿えるよう努力して参ります。

観光入込客数の推移について

次に、観光入込客数について申し上げます。

令和7年度の市内観光施設や各種イベント等における観光入込客数は、約172万人となりました。主要観光施設の一部閉鎖等の影響により前年度を下回ったものの、本市の観光資源そのものの魅力は依然として大きなものと認識しております。

今後は、本年3月に策定した第3期恵庭市観光振興計画の基本理念に基づき、既存の観光資源の魅力向上や滞在・消費の促進を通じた観光地域づくりを進め、「暮らすように訪れるまち」の実現に向け、着実に取組を進めて参ります。

第32回全国花のまちづくり恵庭大会の開催について

次に、第32回全国花のまちづくり恵庭大会について申し上げます。

本大会は、令和8年6月27日及び28日の両日において、恵庭市民会館及び花の拠点はなふるを会場に開催いたします。

長年にわたり取り組んで参りました本市の花のまちづくりを全国に発信する貴重な機会でありますことから、関係団体や市民の皆様と連携し、大会の成功に向けて取り組んで参ります。

新市街地開発について

次に、新市街地開発について申し上げます。

西島松地区につきましては、これまで地権者の皆様と協議を重ね、開

消防設備の充実に
ついて

発に対する一定のご理解、ご同意をいただいているところであります。

引き続き土地の取得に向け手続きを進めるとともに、市街地の形成に向けた取組を進めて参ります。

戸磯地区につきましては、早期開発に向け引き続き地権者との意見交換や事業手法などの検討を行って参ります。

上山口地区につきましては、具体的な需要が明らかになった段階で事業手法などの検討を行って参ります。

最後に、消防設備の充実について申し上げます。

消防に配置する救助工作車を更新整備し、本年3月27日より運用を開始いたしました。新しい車両は、全長短縮により機動力を向上させ、積雪寒冷地特有の融雪剤による車体腐食対策を講じました。また、本車両は全道、全国での大規模災害へ派遣する緊急消防援助隊へ登録しており、あらゆる災害に対応可能な救助資機材を積載しています。

引き続き消防力の維持向上、災害対応能力の強化に努めて参ります。

以上、第1回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。